**論文題目(MSゴシック11ポイント、太字、左揃え)**

1行あける

**\*この「原稿見本」のタイトル以下を上書きして頂ければ原稿の型としてご利用いただけます**

**（赤枠の部分は原稿提出の際に削除してください）**

**\*主発表者(所属)、共同研究者(所属)、\*\*指導教員(所属)　(MSゴシック9ポイント、太字、左揃え)**

1行あける

１．背景，目的（MSゴシック，9ポイント）

本文を和文で入力する場合の文字フォントはＭＳ 明朝で9ポイント、句読点は「、」と「。」として下さい。英文，数字の場合はTime New Roman, 9ポイントでお願いします．2段組に設定して下さい。左右の段の最終行が同じ位置で終了するように調整して下さい。

２．方法（MSゴシック，9ポイント）

原稿サイズ：A4 (210 mm×297 mm)，1ページ

ページ余白：上23 mm、下35 mm、左右22 mm

入力ソフト：Microsoft Word 2016以降

* ファイル名は「発表者氏名\_SAS」として下さい。

SASホームページではこれまでの予稿集を公開しております。（フォームが異なっている場合もあります）

http://www.sas-jas.gr.jp/JAS/archives\_JAS.html

その他、原稿の執筆に関してご不明な点がございましたら、SAS事務局までお問い合せ下さい。

３．実験結果（MSゴシック，9ポイント）

表1　○○○

図1　○○○

　〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

４．考察（MSゴシック，9ポイント）

５．結論（MSゴシック，9ポイント）

参考文献（MSゴシック，9ポイント）

1. Y. Kawada, J. Adv. Sci., 3, pp. 14-17 (1991).
2. E. Yabe and R. Fukui, Jpn. J. Appl. Phys., 26, pp. 1179-1184 (1987).
3. A. Handstein, J. Schneider, K. Zaveta and Z. Kalva, Proc. of the Fourth Int. Conf. on Rapidly Quenched Metals, (Japan Institute of Metals, Sendai, 1981) pp. 989-992